

ハーモニー

プラス

11月

第2学年 学年だより

2024.11.6 発行

日	曜	11月の行事予定	給食
1	金	第1回選挙管理委員会	○
2	土	オープンスクール	×
3	日	文化の日	
4	月	振替休日	
5	火	オープンスクール代休	
6	水	⑤⑥2年救急救命講習, ノー部活デー, 質問教室	○
7	木	生徒会選挙公示	○
8	金		○
9	土		
10	日	むつみ祭	
11	月	45分日課, 更衣移行期間終了, 職員会議	○
12	火		○
13	水	第2回選挙管理委員会, ノー部活デー, 質問教室	○
14	木	職員会議	○
15	金	学習人権委員会パネル撤収	○
16	土		
17	日		
18	月	期末テスト範囲発表, 立候補者あいさつ	○
19	火	学校安全の日, 立候補者あいさつ	○
20	水	ノー部活デー, 質問教室	○
21	木	金曜日課	○
22	金	45分授業, 木曜日課②③④①, ブロック人権大会	○
23	土	勤労感謝の日	
24	日		
25	月	2学期末テスト(~27日)	○
26	火		○
27	水	④全校集会, ノー部活デー, 質問教室	○
28	木	③認定小中合同避難訓練, 第3回選挙管理委員会	○
29	金	生徒会役員改選	○
30	土		

【12月の主な行事予定】

12/2(月)~1/24(金)45分日課,
12/2(月)新生徒会専門委員会,
12/4(水)生徒会引き継ぎ式,
12/6(金)キャリア教育講演会,
12/12(木)~18(水)三者面談,
12/23(月)2学期終業式

修学旅行の次は職場体験ですが...

11月23日は「勤労感謝の日」で休日です。今年はこの日が土曜日で、少し残念に思っている人がいるかもしれません。11月23日は「1948(昭和23)年、「勤労をたつとび(尊び), 生産を祝い, 国民たがいに感謝し合う日」として制定された, 日本の国民の休日です。戦前は「新嘗祭(にいなめさい)」と呼ばれ, 農作物の恵みに感謝する行事が行われていました。現代でも新嘗祭は実施されていますが, 「勤労感謝の日」には日々の疲れを癒したり, 仕事に励む人に感謝の意を示したりといった活動を促しています。

人は何のために働くのか

勤労は日本国民の三大義務のひとつで, 日本国憲法第二十七条一項によると「すべて国民は, 勤労の権利を有し, 義務を負う」とあります。学生時代を経て社会人になった瞬間に, 私たちは自分で稼いで自分の生活を支えていくことになります。そのときに「何のために働くのか」というテーマにぶつかり, 悩む人も多いかと思えます。これは私たちの永遠のテーマであり, おそらく正解のない問題のひとつです。「生きていくために稼ぐ必要があり, 稼ぐために働く」と割り切った考え方の人も多いのではないのでしょうか。

日本国民の義務だから働くと考え人はほとんどいない

「人はなぜ働くのか」, それは勤労という行為そのものに喜びを感じているからなのかもしれません。誰かの役に立っている, 仕事仲間と一緒に過ごす時間が楽しい。そんな喜びの種類は人によって違うでしょうが, 仕事で得られる喜びが仕事へのモチベーションに繋がりを, 私たちを楽しみ気持ちにさせてくれるのでしょう。

幸せは, 快眠, 快食, 快便, そして快く働くこと

ところが(みなさんも)勤労(学校)は喜びであり楽しいことのはずなのに, いざ仕事(学校)に行くとなるとちょっと憂鬱な気分になることがありますよね。みんな楽しく働け(勉強すれ)ばいいのに, 意見がぶつかったり, 思い通りにならなくなると, 「この仕事(勉強又は学校)は面白くない」とネガティブな感情になりがちですが, そういうとき勤労感謝の精神を思い出してみましょう。自分の欲求を押し通すのではなく, 仕事仲間の欲求を尊重し, 半歩下がってその人の勤労をサポートしてみましょう。そうすると見える景色が変わってきます。

勤労感謝の気持ちを持って働くのは, 相手のためではなく自分のためです。情けは人の為ならずと言いますが, 勤労感謝もまた人の為ではなく自分が楽しく働くためのもの。勤労感謝の日はそれを思い出するための一日にしてみてもはどうでしょう。

○なぜ「勤労感謝の日」は11月23日なの? ○

「勤労感謝の日」のもとになっている新嘗祭は, 旧暦では11月の第2卯の日に行われていましたが, のちに1873年(明治6年)に太陽暦(グレゴリオ暦)が導入された際, 旧暦11月の第2卯の日を新暦にあてはめ, その11月23日が「勤労感謝の日」に引き継がれ, 現在に至ります。

《保護者の皆様へ》

10月16日~18日の修学旅行に際しましては, 準備から送迎までたいへんお世話になりました。おかげをもちまして, 生徒たちにとっても思い出深い旅行となり, あらためて教職員一同御礼申し上げます。また今後ともよろしく願いいたします。